

環境にやさしい産業づくり 株式会社 リサイクル

産業廃棄物の削減と再利用、環境にやさしい化学工業薬品の販売、環境保全に有益な産業づくりをオールマイティーにサポートする株式会社リサイクル。今でこそ『リサイクル』は当たり前のようになっているが、容器包装リサイクル法が施行され、意識が高まったのが1995年。まだ18年前の事。環境問題や『リサイクル』という言葉も定着していなかった時代、現会長が鉄工所から脱サラして株式会社リサイクルを設立したのは、今から32年前の1981年。

化学はH₂Oしか知らない。業界の事も分からない。分からないまま初めは機械洗浄用の不燃性溶剤のリサイクルから始めた。浄化プラントは鉄工所で培ったモノづくりの技術とノウハウで、現会長が創業時に試行錯誤しながら自ら制作。ルートも一から開発。リサイクル方法を簡単に説明すると、油と金属粉や汚れが混ざった使用済の溶剤をヒーターで熱して蒸溜する。沸点温度の違いで油と溶剤を分離し、冷却してフィルターで濾して再製品化する。元と同じ洗浄用の溶剤として販売する完全なリサイクル。

今までの産廃処理工場のイメージが変わる清潔な処理工場

産業廃棄物を処理する工場のイメージは、有害な廃棄物が山盛りで汚く、臭いもきついイメージ。しかし1500坪の広大な本社工場内は床や地面に油染みもない。嫌な臭いどころか殆ど臭いもしない！回収した産業廃棄物は雨ざらしなどせず、倉庫できちんと整理して保管されている。とてもきれいで清潔な保管処理工場。いままでの悪いイメージは株式会社リサイクルによって覆われてしまった。

余談：全ての営業車やトラック、リフトのナンバーは1390（リサイクルと読む）。電話番号1390。ちょっとした洒落とこだわりもお持ちのよう。



ドラム缶1本の小ロットでも回収できる仕組みとは

産業廃棄物の回収は都道府県ごとに許認可が必要なので、近隣だけで産廃を回収する業者が主になる。それでトラック一台分ないと産廃を引き取らない場合が多いのが実情。産廃回収便の行きトラックを空で走らせるのではなく、再生品や新品の洗浄剤等の製品を乗せて走る。その納品と同時に産廃を回収して帰る。片道だけではないので小ロットでもOK。しかも沖縄以外全ての都道府県で産業廃棄物の許認可を受け、全国営業展開しているのでどこでも回収が可能。

リサイクル工場も小ロットで処理できる1200～1400リットルの小型タイプ用プラントが並ぶ。中小企業の産業廃棄物を細やかに回収して、中小企業の産業を支えている。

リサイクルグループのシステム

① 殆どの産業廃棄物を全国で回収。

② 自社配送の即納態勢で、ニーズに的確に対応。

お客様と本社および全国の各営業所と工場を結び、即時対応、即時納品の配送態勢構築。

③ 化学工業薬品製造・販売・その他

トータルなリサイクル提案の一環として、工業薬品の製造・販売・輸出・輸入を手がける。万全の品質管理のもと、ピットやタンク、プースの清掃工事等を含め幅広いサービスも充実。

④ 免許取得の専門スタッフが作業。

回収先で処理業務にあたるのは、全国各地の産業廃棄物収集運搬許



ニュースーパークリーンシリーズ、次世代フッ素系洗浄剤



可、有機溶剤作業主任者、危険物取扱者等の各種免許取得のスペシャリスト。作業は確実。安全管理も万全。産廃を運ぶだけではなく、産廃置き場の設置方法や管理方法、設備メンテナンスの改善について、現場を知る営業マンが提案。営業マンは提案のできる技術者集団でもある。社長自身も15もの免許を持っているそうだ！

④ 洗浄機・回収装置・製造据付工事

グループ企業で、洗浄機・回収装置の製作・据付工事、そしてアフターメンテナンスまでの一切をトータルに行う。

お試し！二槽式洗浄装置デモ機を無料で貸出中！

金属加工による切削油等で油まみれになった製品をピカピカにする装置「二槽式洗浄機」

洗浄方法はバスケットに油まみれになった製品を入れて、洗浄槽に浸漬させる。次に蒸気槽に入れて乾燥させるだけ。この洗浄装置デモ機を、1週間無償貸出中（洗浄液は有償）。是非この機会に使い勝手と機能のお試しを！



洗浄バスケット
寸法：200×200×h150
液量：洗浄槽約13L・蒸気槽約14L

地元とのコミュニケーション作り『もちつき大会&バザー』



工場内だけではなく、工場に通じる道がきれいに清掃してある事に気付く。それは2002年に東大阪市布市町に工場移転以来社員が交代で朝7時前に出社して、工場の前の道路もきれいに清掃しているから。それも地域の

コミュニケーション作りと地域貢献のため。それに、毎年暮れには全国営業所員が集合し、近隣の住人の方を招き『もちつき大会&バザー～歳末助け合い運動～』を開催。去年12月開催で19回目を数えるに至った。地元の方にもバザーに出品してもらい、収益は全て地域の福祉機関に寄付して還元。

目標は上場できる企業を目指す事。

実績としては、グループでの一貫したサービスで経営革新計画承認企業として認定。運搬トラックは、一般貨物自動車運送業としての緑ナンバーを取得。2年前に通常の許可基準よりも厳しい基準をクリアして優良産廃処理事業者認定取得等・・・。日本中をリサイクルして、廃棄物をゼロにする事を目指す。ますます発展が期待できる企業だ。

株式会社 リサイクル

代表取締役会長 大天勝正

代表取締役社長 大天政輝

〒579-8004
東大阪市布市町2丁目1番40号
TEL：072(980)1390(代)
FAX：072(980)1391(代)
<http://www.recyclegroup.co.jp>



【事業概要】(1)工業薬品製造・販売 (2)洗浄機・回収装置・製作据付一式
(3)廃油再生・販売 (4)空調設備の販売・据付工事一式
【グループ企業】リサイクルセンター株式会社・株式会社ダイテック・唐澤化学工業株式会社